



# 日本植物病理学会ニュース 第41号

(2008年2月)

## 【今後の学会活動予定】

### 1. 平成20年度大会開催予定

日 時：平成20年4月26日（土）～28日（月）  
 場 所：くにびきメッセ（島根県立産業交流会館）  
 〒690-0826 松江市学園南1丁目2番1号,  
 Tel: 0852-24-1111, Fax: 0852-22-9219  
<http://www.kunibikimesse.jp/>  
 問合わせ先：平成20年度日本植物病理学会大会事務局  
 〒690-8504 松江市西川津町1060  
 島根大学生物資源科学部植物病理学研究室内  
 （荒瀬 栄）  
 Tel: 0852-32-6526, Fax: 0852-32-6525  
 E-mail: taikai2008@life.shimane-u.ac.jp  
 大会プログラム担当：  
 〒690-8504 松江市西川津町1060  
 島根大学生物資源科学部植物病理学研究室内  
 （木原 淳一）  
 Tel: 0852-32-6520, Fax: 0852-32-6525  
 E-mail: program2008@life.shimane-u.ac.jp  
 大会HP・申込サイト：<http://www.knt.co.jp/ec/2008/ppsj/>  
 参加申込締切：平成20年2月15日（金）

### 2. 平成20年度部会開催予定

#### (1) 北海道部会（6月に正式決定）

日 時：平成20年10月  
 場 所：北海道農業研究センター  
 連絡先：北海道立中央農業試験場 堀田治邦  
 E-mail: horitaha@agri.pref.hokkaido.jp  
 Tel: 0123-89-2584

#### (2) 東北部会

日 時：平成20年10月  
 場 所：岩手大学  
 連絡先：岩手大学農学部 磯貝雅道

E-mail: isogai@iwate-u.ac.jp  
 Tel: 019-621-6176

#### (3) 関東部会

日 時：平成20年9月上旬  
 場 所：日本大学生物資源科学部六会キャンパス  
 連絡先：日本大学生物資源科学部植物病理学研究室  
 前田孚憲, 井村喜之  
 E-mail: imura@brs.nihon-u.ac.jp  
 Tel: 0466-84-3517

#### (4) 関西部会

日 時：平成20年9月18日・19日  
 場 所：和歌山ビッグ愛  
 連絡先：和歌山県農林水産総合技術センター  
 増田吉彦（幹事）  
 E-mail: masuda\_y0003@pref.wakayama.lg.jp  
 Tel: 0736-64-2300, Fax: 0736-65-2016

#### (5) 九州部会

日 時：平成20年11月5日・6日  
 場 所：セントヒル長崎  
 〒850-0052 長崎市筑後町4-10  
 Tel: 095-822-2251, Fax: 095-826-4732  
 連絡先：佐賀大学農学部 草場基章  
 E-mail: mkusaba@cc.saga-u.ac.jp  
 Tel: 0952-28-8727

### 3. 談話会・研究会の開催予定

#### (1) EBC研究会ワークショップ2008

日 時：平成20年4月25日（金）14時～19時  
 場 所：くにびきメッセ 601会議室  
 連絡先：東京農業大学農学部植物病理学研究室  
 根岸寛光

E-mail: negishi@nodai.ac.jp

Tel: 046-270-6498

(2) 第10回植物病害生態研究会

日時:平成20年4月29日(火)9時~15時

場所:くにびきメッセ 601会議室

連絡先:九州沖縄農業研究センター 赤かび病研究  
チーム 中島隆

E-mail: ntakeashi@affrc.go.jp

Tel&Fax: 096-242-7728

(3) 第9回植物ウイルス病研究会

日時:平成20年4月29日(火)9時25分~16時  
30分

場所:倉敷市立美術館 講堂

連絡先:岡山大学資源生物科学研究所 鈴木 信弘

E-mail: pfi2008@server.rib.okayama-u.ac.jp

Tel:086-434-1230, Fax:086-434-1232

(4) 第18回殺菌剤耐性菌研究会シンポジウム

日時:平成20年4月29日(火)9時~16時

場所:くにびきメッセ 501会議室

連絡先:JA全農 肥料農薬部安全・安心推進課  
宗 和弘

E-mail: sou-kazuhiro@zennoh.or.jp

Tel:03-3245-7281, Fax:03-3245-7444

(5) 第44回植物感染生理談話会

日時:平成20年8月7日(木)~9日(土)

場所:大子温泉郷 余暇活用センター「やみぞ」

〒319-3552 茨城県久慈郡大子町矢田 524-2

<http://www.yamizo.com>

Tel:0295-72-1511, Fax:0295-72-1514

連絡先:農業環境技術研究所 生物生態機能研究領  
域 石井英夫

E-mail: hideo@niaes.affrc.go.jp

Tel&Fax: 029-838-8307

(6) 第24回土壌伝染病談話会

日時:平成20年9月10日(水)~12日(金)

場所:高知大学農学部5-1教室

連絡先:高知大学農学部 曳地康史

E-mail: yhikichi@cc.kochi-u.ac.jp

Tel:088-864-5218

【共催その他】

(1) 環境保全型農業シンポジウム

日時:平成20年2月22日(金)10時30分~17時

場所:日本教育会館3F 一ツ橋ホール(東京都千  
代田区)

(2) 第55回関東東山病害虫研究会

日時:平成20年2月29日(金)10時~16時

場所:群馬県市町村会館(前橋市元総社町335-8)

連絡先:群馬県農業技術センター 生産環境部  
植物保護グループ

E-mail: siba-s@pref.gunma.jp

Tel:0270-63-3608

(3) 第4回太平洋農業科学会議

日時:平成20年6月1日(日)~4日(水)

場所:ハワイ・ホノルル

(4) 日中菌学フォーラム 長春2008

日時:平成20年7月28日(月)~8月5日(火)

(エクスカージョンも含めて)

場所:中国 吉林農業大学

それぞれのシンポジウム, 会議等の詳細は本会ホームページを参照下さい. 開催予定も随時更新してゆきます.

【学会活動状況】

1. 談話会・研究会開催報告

(1) 第24回植物細菌病談話会

第24回植物細菌病談話会(運営委員長:高橋賢司)が, 10月1~2日, つくば市の「つくば国際会議場」で開催された. 4部構成で, 10名の講師に講演して頂いた.

初日の第1部「新発生および検疫上問題の細菌病」では「ウリ科野菜に発生する果実汚斑細菌病の特徴と研究開発動向」(野菜茶業研究所 白川 隆, 敬称略, 以下同様), 「カンキョウグリーンング病研究の現状」(果樹研究所 岩波 徹), 「リンゴ・ナシ火傷病の発生, 生態と防除に関する研究の現状」(中央農業総合研究センター 畔上耕児)について, 第2部「細菌病の生態と防除」では「イネ内穎褐変病の発生生態」(鳥取県農業試験場 長谷川 優), 「バクテリオファージを利用した植物細菌病防除の試み」(中央農業総合研究センター 井上康宏)について講演して頂いた. 総合討論の場では曳地康史先生(高知大学)から, 青枯病菌分類の新たな動向(phylo-type)について紹介して頂いた.

2日目の第3部「細菌の新しい分類学的研究」では「*Agrobacterium* 属細菌の分類をめぐる最近の情勢」(農業生物資源研究所 澤田宏之), 「過去をさかのぼるために: 分子系統樹推定の最前線」(農業環境技術研究所 三中信宏) について, 第4部「細菌の新しい生理・遺伝学的研究」では「共生細菌が昆虫の植物適応を変える〜宿主生態に与える影響からその生理機構まで」(産業技術総合研究所 土田 努), 「農業環境中に生息する細菌のバイオフィームとその役割」(農業環境技術研究所 吉田重信), 「植物との相互作用に参与するイネ白葉枯病菌のタイプⅢ分泌タンパク質」(京都府立大学 津下誠治) について講演して頂いた。

全国から86名の参加者があり, 日頃体系的には勉強する機会の少ない話題を聴いて熱い討論が行われ, 談話会は盛会のうちに無事終了した。基礎的なことから応用的なことまで, 細菌病の発病阻止や発病機構の解明, 環境調和型防除法確立等に向けた情報を共有する有意義な場になった。参加者の皆様, 講師の皆様, 開催にご援助を頂いた皆様にこの場をお借りして深く御礼申し上げます。次回2009年の開催地は静岡大学に決定された。(畔上耕児)

## 2. 部会開催報告

### (1) 北海道部会

平成19年度北海道部会は10月11日, 12日の2日間にわたり, 札幌市の北方圏センターで開催された。参加者は93名であった。11日は第206回談話会が開催され, 「作物・病原体ゲノム解析を利用した防除戦略」のテーマで行われた。演者は4名で, 道立中央農業試験場 竹内徹氏による「分子マーカーを利用した病害抵抗性育種」, 同じく中央農業試験場 大西志全氏による「大豆の病害虫抵抗性育種における分子マーカー利用の実際」, 北海道大学大学院 近藤則夫氏による「抵抗性品種を利用したアズキ落葉病の防除戦略」, 同じく北海道大学大学院 田中みち子氏による「ジャガイモそうか病病徴部における微生物相及び病徴関連遺伝子の解析」の講演で, 活発な議論が行われた。

12日は研究発表会および総会が開催された。講演はウイルス・ウイロイド病関係が9題, 細菌病が2題, 糸状菌病が8題の計19題で, 活発な質疑応答が行われた。総会では庶務報告・会計報告が承認されたほか, 部会会則の改正, 備品の購入について提案があり, 承認された。

(堀田治邦)

### (2) 関東部会

平成19年度関東部会は9月13・14日の両日, 昨年に引き続き神奈川県厚木市の東京農業大学農学部厚木キャンパ

ス内トリニティーホールで開催された。宇都宮大学での大会開催から十分な期間があったためか, 今回の講演数は54題と前年を大幅に上回り, 参加者は約200名, 懇親会参加者は約60名と, 関東地区内では僻遠の地である厚木での開催にもかかわらず盛会となった。部会終了後には, 東京大学の山次康幸氏と東京農業大学の篠原弘亮氏を講師とした若手の会が開催され, 部会から引き続いての熱い講演と討論が遅くまで繰り広げられた。なお, 開催初日昼に行われた役員会で, 新部長に日本大学生物資源科学部の前田孚憲氏が選出され, 次回以降2回の部会開催をお願いすることとなった。これをもって部会長の職務をほぼ無事に終了することができたが, これもひとえに学会本部をはじめとする関係各位のご支援・ご協力の賜であり, 新部長に対しても同様のご支援をお願いする次第である。

(陶山一雄)

### (3) 関西部会

平成19年度関西部会は10月6日・7日の2日間にわたり岐阜大学応用生物科学部にて開催された。参加者は約200名, 総講演数は84題で, 内訳は糸状菌関連45題, 細菌病関連10題, ウイルス関連10題, 植物保護関連19題であった。部会運営は, 開催地委員長の百町満朗氏, 幹事の久保田真弓氏および実行委員を中心に, 関係各位のご協力により準備され, 会期全般を通して活発な討議が行われた。6日の講演発表終了後, 岐阜大学生協第1食堂にて懇親会が行われ, 岐阜ゆかりの食材を味わいながら, 参加者相互の親睦を深めることができた。部会役員会は6日午前中に開かれ, 豊田和弘事務幹事の進行で, 役員の交代, 庶務・会計報告, 次年度の開催計画等が審議・了承された。また, 平成20年度の部会は, 開催地委員長 吉本均氏, 幹事 増田吉彦氏により, 9月18日(木)・19日(金), 和歌山市の和歌山ビッグ愛で開催される旨が了承された。これらの審議・了承事項は, 同日午後の部会総会においても報告され, 了承された。総会終了後には, 部長講演「エフェクター分泌と感染の成否との間」があった。

(白石友紀)

### (4) 九州部会

平成19年度の九州部会は10月31日, 11月1日の2日間にわたって, 鹿児島県市町村自治会館(鹿児島市)で開催され, 参加者は約120名であった。九州部会は九州病害虫研究会との共催で開かれた。九州病害虫研究会と共催になったためと思われるが, 講演数は例年より多く33題で, 内訳はウイルス・ウイロイド病関係10題, 菌類病関係14題, 防除薬剤関係3題, 細菌病関係6題で熱心な討議が行われた。昼食時に開催された幹事会で役員の交代, 次年度

の開催計画等が審議された。その結果、平成20年度の部会は長崎県で開催されることになり、幹事会の後に開催された総会において報告、了承された。2日目には第32回九州部会シンポジウムが開催され、九州沖縄農業研究センターの鈴木文彦氏による「イネいもち病菌の個体群構造解析および検出・定量法の構築」、沖縄県農業研究センター名護支所の大城 篤氏による「雑草を利用した土壌病害(青枯病・放線菌病)の防除とその作用機構」、ならびに佐賀大学農学部の高保弘氏による「植物ウイルスの系統地理学的・集団遺伝学的研究」の3つの話題提供があり、活発な論議が行われた。(大島一里)

#### 【その他】

「うどんこ病菌の宿主範囲と地理的分布」(Amano, 1986)の無料ダウンロードサイト

故天野幸治著「Host Range and Geographical Distribution of the Powdery Mildew Fungi (うどんこ病菌の宿主範囲と地理的分布), 学会出版センター, 1986年発行」のPDFファイルが下記URLサイトで無料でダウンロードできるようになりました。

<http://www.bio.mie-u.ac.jp/seimei/rikuken/lab5/downloads.html>

この本は全741ページからなり、宿主植物とうどんこ病菌の組み合わせ数で14,647の世界のうどんこ病発生記録と3939の引用文献が納められています。741ページのすべては天野先生の奥様が手動のタイプライターで打たれたものです。この無料ダウンロードは、学会出版センターの吉田眞次氏と天野先生のご子息である信州大学教授天野直二氏のご理解によって可能になりました。

なお、「うどんこ病菌の宿主範囲と地理的分布」中の表のエクセルファイルとファイルメーカーファイル(MAC用のみ)も同サイトからダウンロード可能です。(高松 進)

#### 【学会ニュース編集委員コーナー】

本ニュースは身近な関連情報を気軽に交換することを主旨として発行されております。会員の各種出版物のご紹介、書評、会員の動静、学会運営に対するご意見、会員の関連学会における受賞、プロジェクトの紹介などの情報をお寄せいただきたくお願いいたします。

投稿宛先：〒170-8484 東京都豊島区駒込1-43-11

日本植物防疫協会ビル内

学会ニュース編集委員会

Fax: 03-3943-6086

または下記学会ニュース編集委員へ：

加来久敏, 石井英夫, 寺岡 徹, 竹内妙子, 小板橋基夫, 各委員宛

---

#### 編集後記

新年明けましておめでとうございます。学会ニュース第41号をお送りします。新年にあたり会員の皆様方のご健康とご発展を祈念いたします。学会の国際化やIF獲得など学会が抱える問題は多数ありますが、プラス思考で学会員の叡智を結集して対処してゆきたいものです。さて、本号では部会や談話会・研究会の開催報告と平成20年度の大会及び部会、さらに談話会・研究会、また共催で開催されるシンポジウムや会議などの案内を掲載しました。平成20年度も盛りだくさんの行事が予定されています。奮ってご参加いただきますようご案内申し上げます。学会ニュースでは書評、国内外の学会のニュースや学会に対するご意見なども掲載できます。どうか有益な情報提供の場としてもご活用いただきたいと思いますので、ご投稿をお待ちしています。(加来久敏)

---